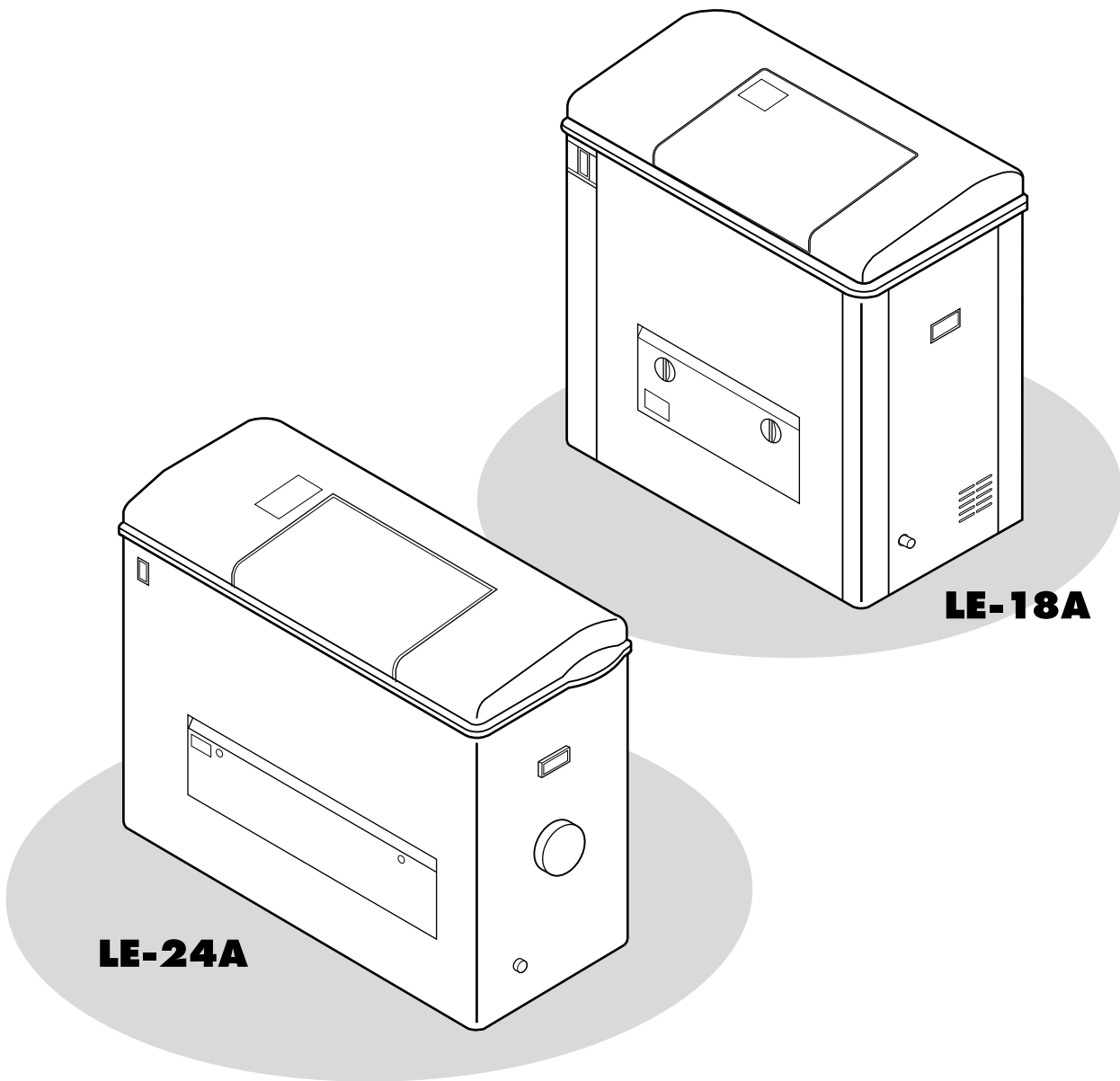


家庭用生ごみ分解処理機

# エコロンポ

LE-18A・LE-24A

## 取扱説明書



## はじめに

このたびは生ごみ分解処理機【エコロンポ】をお買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書は当製品を安全に、正しくご利用いただくためのガイドブックです。

この取扱説明書をよくお読みいただき、内容をご理解された上でご使用くださいますようお願いいたします。また、必要に応じてご覧いただけるように、本説明書はお近くに置いてください。

次に、製品の運転・点検確認などのお取扱において、ご注意ください箇所に貼付されています「危険表示ラベル」「警告表示ラベル」および「注意ラベル」や、取扱説明書に記載されています **注** マークについてご案内いたします。



「危険」の文字の右に書かれている事柄は、その内容を守らないと重大なケガ・事故につながることもあり、最もご注意ください内容のものです。



「警告」の文字の右に書かれている事柄は、その内容を守らないとなケガ・感電などの事故につながることがあり、十分にご注意いただきたい内容のものです。



「注意」の文字の右に書かれている事柄は、その内容を守らないと思わぬ事故につながることもあり、ご注意ください内容のものです。

**注**

この製品の機能・性能を発揮するために、ご使用上お守りいただきたい内容のものです。

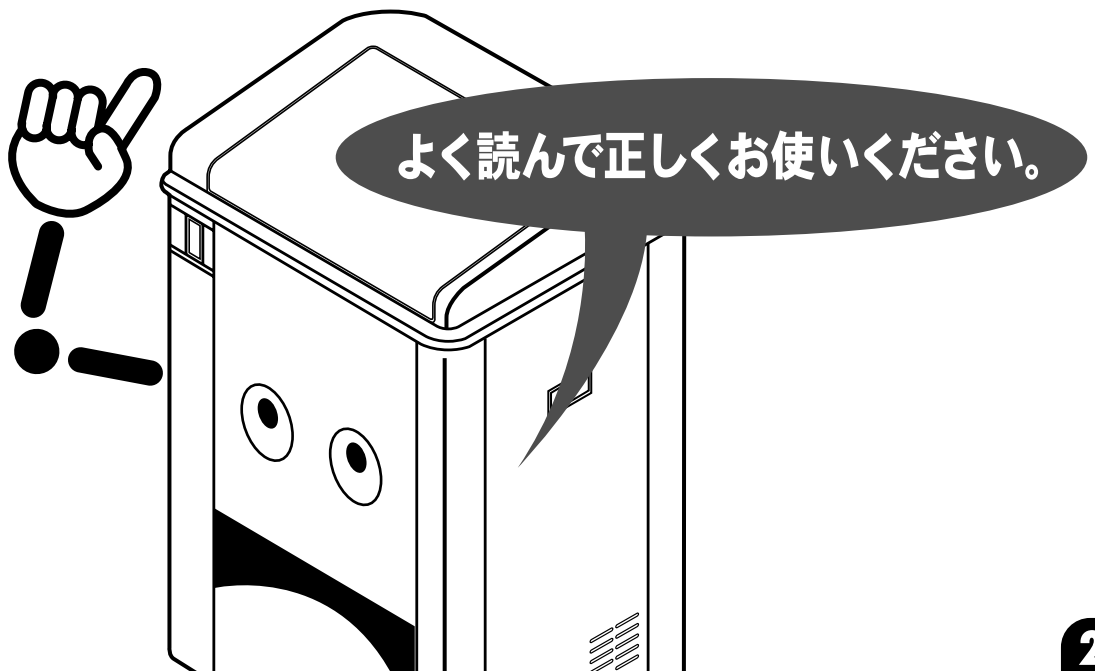


- この製品は、ご家庭の生ごみを処理して堆肥にする目的で作られております。他の用途にはお使いにならないでください。
- 取扱説明書に記載されている以外の使い方をしないようにしてください。

当製品につきましてご不明な点がございましたら、ご購入先あるいは裏表紙に記載してあります弊社営業所にお問い合わせください。

# もくじ

	ページ
はじめに .....	<b>1</b>
もくじ .....	<b>2</b>
1.仕様 .....	<b>3</b>
2.各部の名前と構造 .....	<b>4</b>
3.安全上の注意事項 .....	<b>5</b>
4.警告表示ラベルの添付位置と内容 .....	<b>6</b>
5.据付時の注意事項 .....	<b>7</b>
6.投入物の注意事項 .....	<b>8</b>
7.ご使用の方法 .....	<b>9</b>
8.堆肥の取り出し方と製品のお手入れ .....	<b>11</b>
9.故障かな?と思われたら .....	<b>12</b>
10.堆肥の使い方 .....	<b>13</b>
11.保証書 .....	<b>14</b>



# 1.仕様

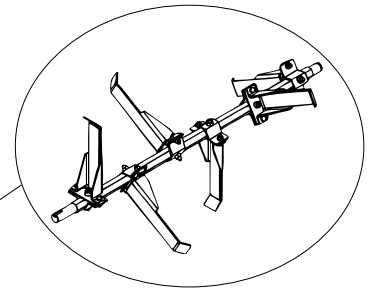
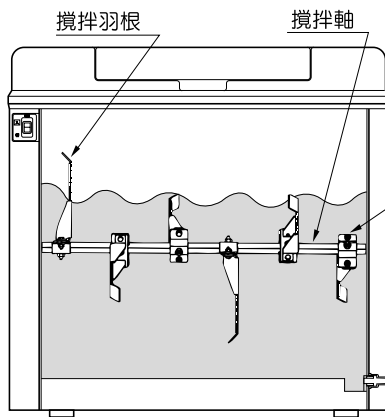
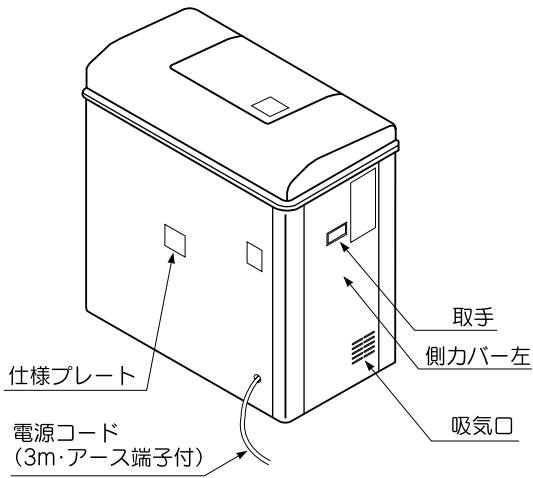
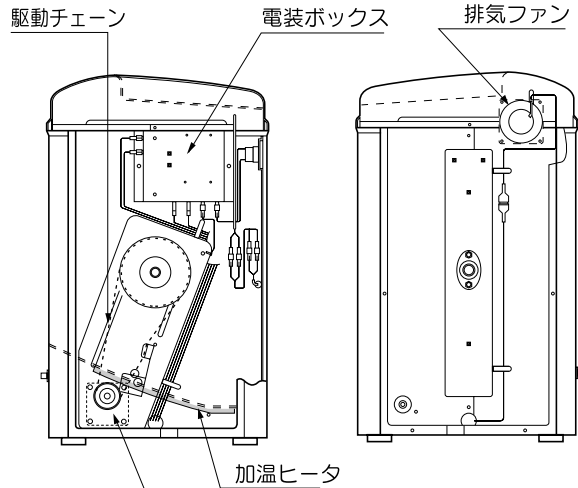
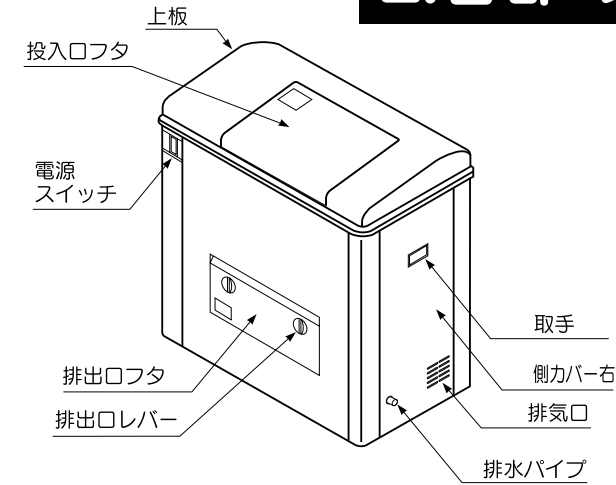
型 式 名		LE-18A	LE-24A
処理量(kg)	標準(1日当り)	1.8kg	2.4kg
	最大(1日当り)	2.3kg	2.9kg
	1週間当り	12.6kg以内	16.8kg以内
本体	奥行×全幅×全高(mm)	467×834×785	475×1117×794
	重量(kg)	31	44
電源	電 圧(V)	単相100(50/60Hz)	
	所要電力(W)	302/320	362/380
添 加	粉 殻 容 量(ℓ)	120	180
	予 備 粉 殻 容 量(ℓ)	90	30
加	エコロンポ菌(g)	200	
	脱 臭 剤(kg)	1	
攪拌	攪 拌 回 数	1時間毎に1回(1分間)	
	攪拌モーター出力(W)	59/71	
加 温	加温ヒーター容量(W)	140	200
	加 温 方 式	シリコン線アルミ箔ヒータ	
	余剰加温保護	サーモスタット25℃ off/15℃ on	
換 気	排気ファン入力(W)	8/6	12/10
	排気ファン形式	軸流ファン	
安全装置	モータ加熱保護	サーマルプロテクタ120℃自動復帰	
	ヒータ加熱保護	サーモスタット55℃ off/45℃ on 温度ヒューズ溶断温度99℃	
	電 源 保 護	温度ヒューズ5A	
	攪拌羽根巻き込み防止	投入口フタスイッチ/排出口フタスイッチ	
	使用環境温度(℃)	0~40	

別 売 品	粉 殻 セ ッ ト コードNo 53003-050041	粉 殻 : 70ℓ×3袋 エコロンポ菌 : 200g×1袋 脱 臭 剤 : 1kg×1袋
	補 充 用 粉 殻 コードNo 53005-050061	粉 殻 : 70ℓ×2袋
	エ コ ロ ン ポ 菌 コードNo 53002-108001	エコロンポ菌 : 200g×1袋
	脱 臭 剤 コードNo 53003-105003	脱 臭 剤 : 1kg×1袋
	寒 冷 地 用 ヒ ー タ ー	LE-18A コード No53009-050041 LE-24A コード No53007-050041

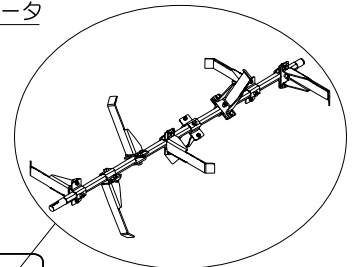
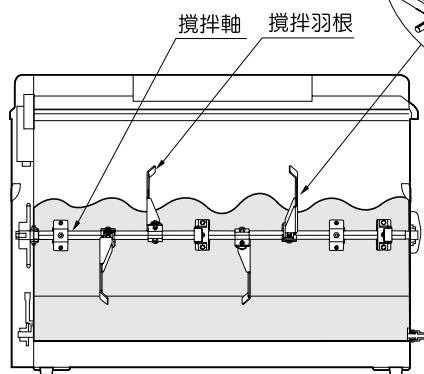
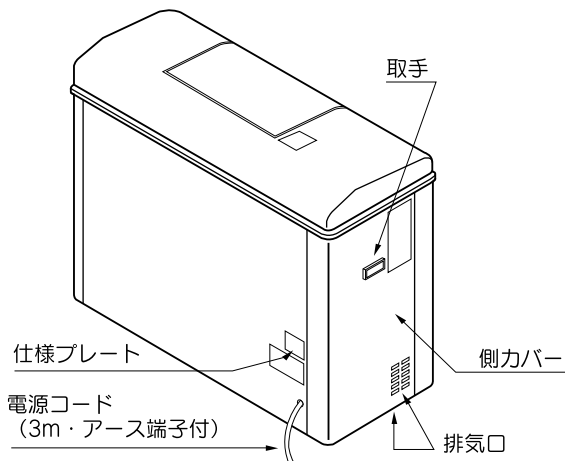
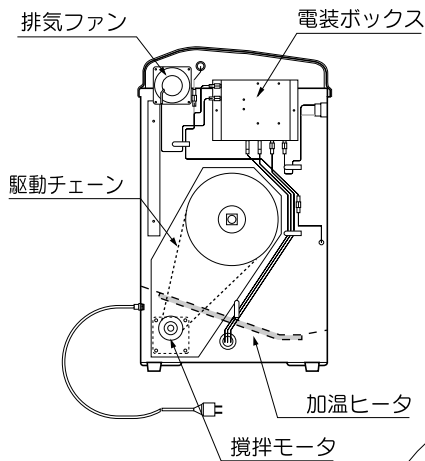
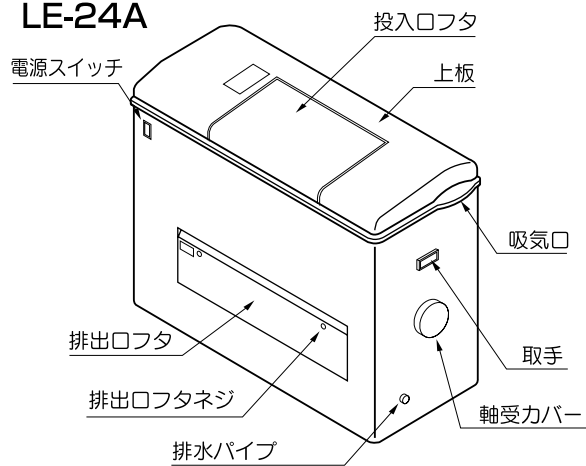
標準付属品として粉殻セット70ℓ×3袋が付いています。

LE-18A

# 2.各部の名前と構造



LE-24A

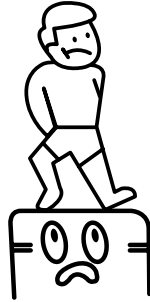


### 3.安全上の注意事項

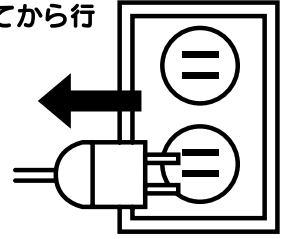
安全にお使いいただくために、注意事項を守ってください。

#### ⚠ 危険

- 装置の上に乗ったり、物を置いたりしないでください。

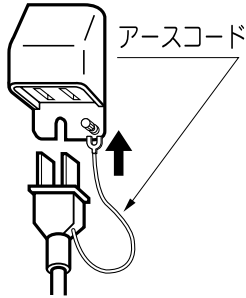


- 製品内部の点検・掃除は電源を切ってから行ってください。

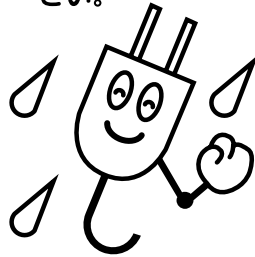


#### ⚠ 警告

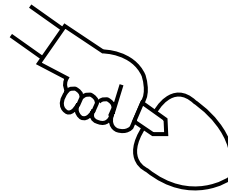
- 必ずアースコードを接続してください。



- 屋外の電源コンセントをご使用する場合は、防雨形を使用してください。



- 排出作業等、装置内に手を入れるときは手袋をして、シャベル等を使って行ってください。



- 本体にホースやバケツで直接水をかけないでください。



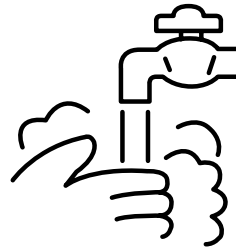
- 装置内部に注水しないでください。

#### ⚠ 注意

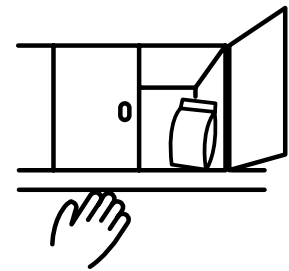
- 小さなお子様にはさわらせないようにしてください。



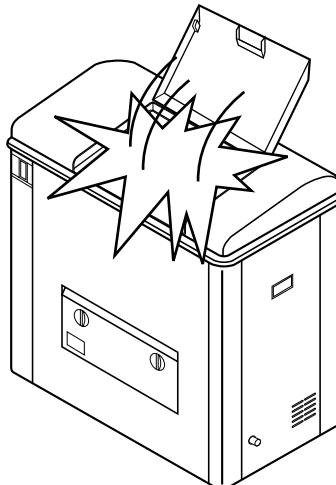
- エコロンボ菌や堆肥が手についた時は、石鹸できれいに洗ってください。



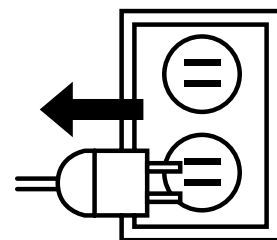
- エコロンボ菌は食べられません。お子様の手の届かない所へ保管してください。



- 投入口フタを閉めるとき手をはさまないようにご注意ください。

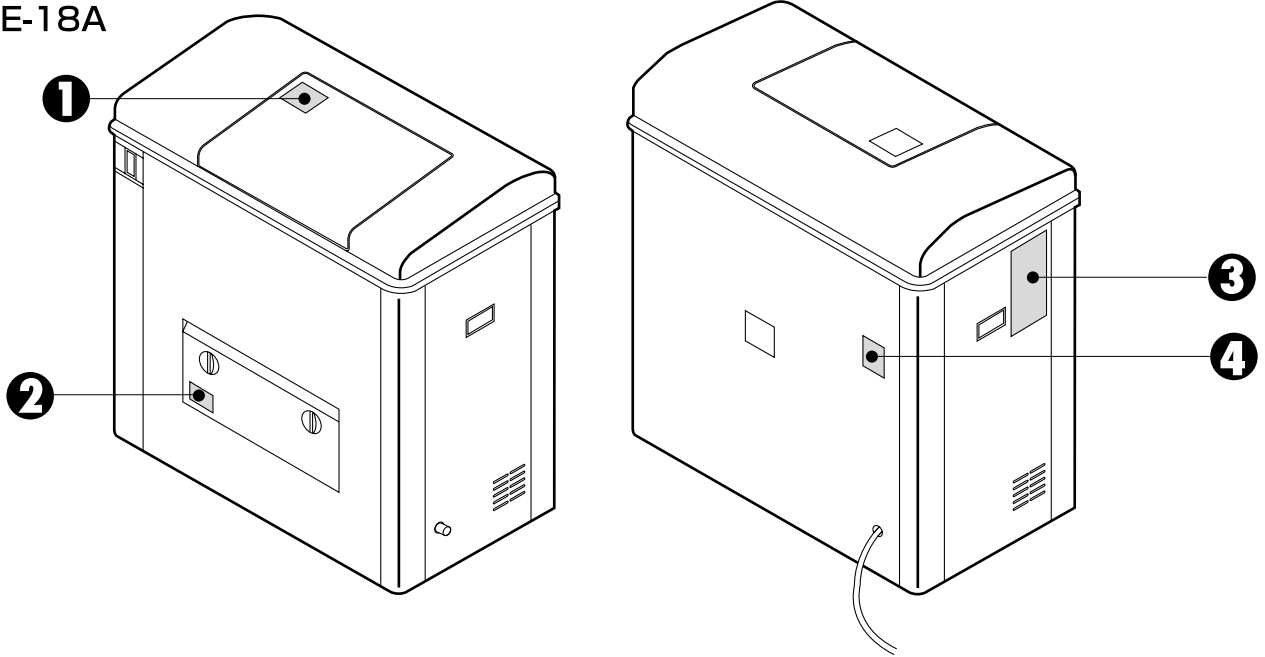


- 左右の側カバーを外すときは、電源コードを抜いてから行ってください。

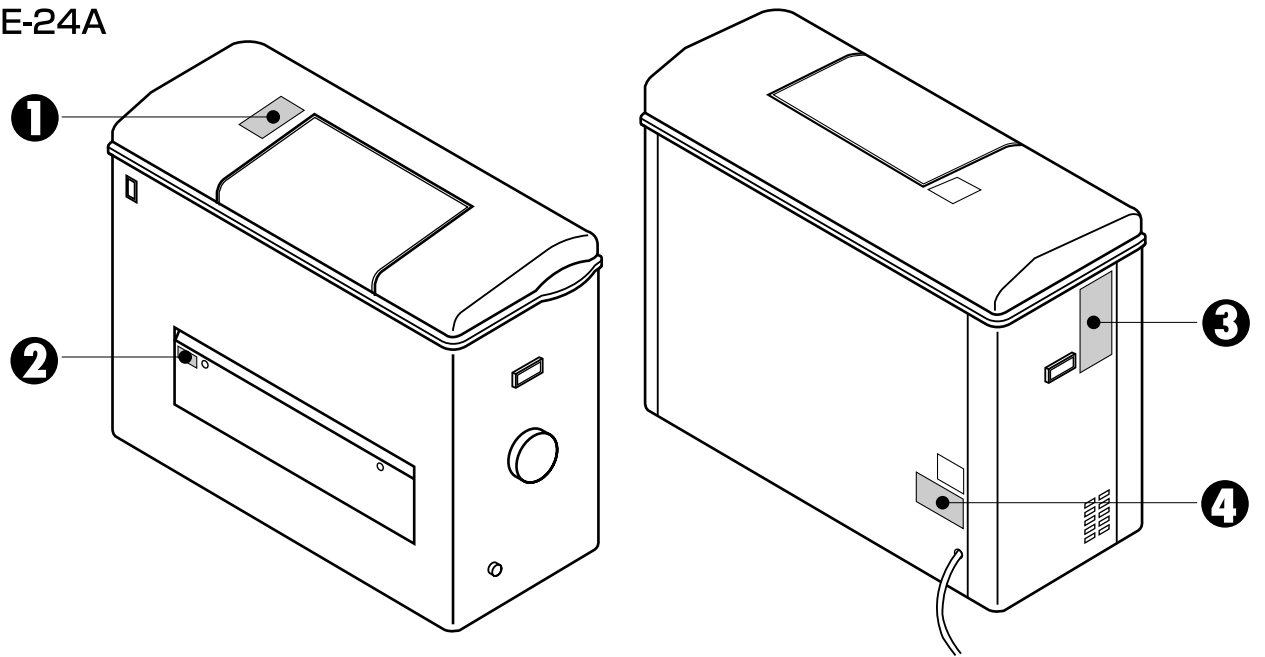


# 4. 警告表示ラベルの貼付位置と内容

LE-18A



LE-24A



**1** 品番：53036-203003

	<b>危険</b> 攪拌羽根に手を巻き込まれてケガをすることがありますので ・製品内部の点検、清掃は必ず電源コンセントを抜いてから行ってください。
	<b>危険</b> 転落や落下によりケガをすることがありますので ・製品の上に乗ったり、物を置いたりしないでください。

53036-203003

**2** 品番：53036-202013

	<b>危険</b> 攪拌羽根に手を巻き込まれてケガをすることがありますので ・製品内部の点検、清掃は必ず電源コンセントを抜いてから行ってください。
--	---

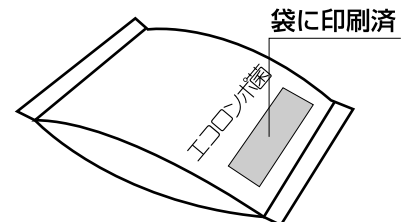
53036-202013

**3** 品番：53036-202014

	<b>警告</b> 感電する事がありますので ・屋外の電源コンセントをご使用する場合は、必ず防水型をお使いください。 ・必ずアースが取ってあることを確認してください。 ・電気部品の点検は販売店に依頼してください。
	<b>注意</b> 修理業者以外は左右のカバーをはずさないで下さい。 駆動しているチェーンに巻き込まれてケガをすることがありますので ・運転中にカバーを開けないでください。
	<b>注意</b> 事故防止のため ・運転を始める前に必ず取扱説明書を読んでから操作してください。 ・取扱説明書に記載されている以外の使い方はしないでください。

53036-202014

全機種共通



**4** 品番：53006-202003

	<b>警告</b> 感電することがありますので、電源を入れる前に必ずアースがとってあることを確認してください。
--	--

53006-202003

## 5. 据付時の注意事項



**危険**

- 転落や落下によりケガをすることがありますので
- 投入口フタの上に乗ったり、物を置いたりしないでください。



**警告**

- 感電するおそれがありますので
- かならずアースコードを接続してください。
- 屋外の電源コンセントを使用される場合は、防雨形を使用してください。

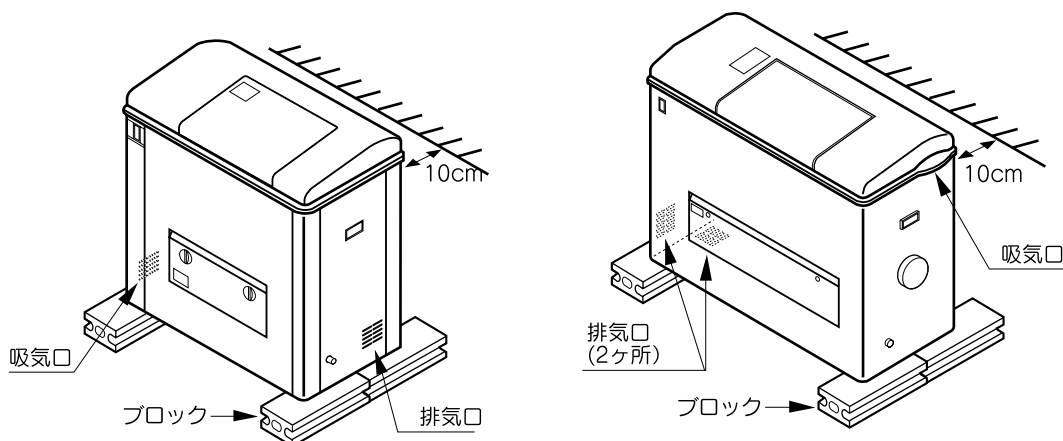


**注意**

- 小さなお子様にはさわらないようにご注意ください。

### ① ぐらつかないように平らな場所に装置を設置してください。

- 下が地面の場合はブロック等の上に据え付けます。
- 本体の後は、投入口フタの開閉に支障がないように、10cm以上離してください。
- 湿気や湿度の高いところへの設置は避けてください。部品の故障や性能が低下する原因になります。
- 排気がこもらないように、風通しのよい所へ設置してください。臭い発生の原因になります。
- 室内・ベランダではご使用できません。



**注**

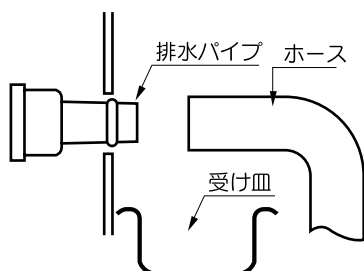
- 吸、排気口をふさがないようにご注意ください。吸、排気口をふさぎますと悪臭発生の原因になります。

### ② 排水について

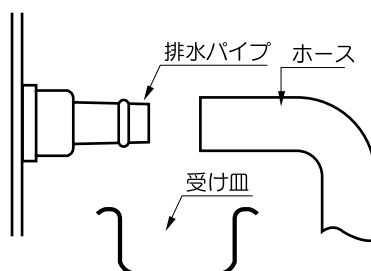
通常は排水口からの排水はありませんが、投入量が多い場合、もしくは外気温が低い場合排水口から水が出る場合があります。受け皿または排水ホースをご用意ください。

排水ホース 内径15mm

LE-18A



LE-24A



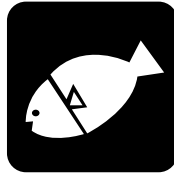


# 6. 投入物の注意事項

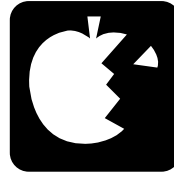
## 投入してよいもの（処理できるもの）



野菜の屑



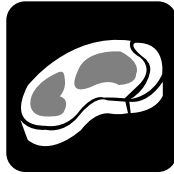
魚



果物の屑



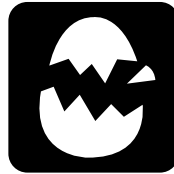
穀物類



肉



魚の骨  
小さな肉の骨



卵の殻

（細くなるだけで分解はしない）



お茶ガラ  
コーヒー粉

### 注

■ 生ごみの処理能力を表に示します。定められた量以上は投入しないでください。

機種	標準1日	最大1日	1週間	目安
LE-18A	1.8kg	2.3kg	12.6kg以内	三角コーナー約2杯
LE-24A	2.4kg	2.9kg	16.8kg以内	三角コーナー約3杯

■ 「長いもの」や「大きなかたまり」は、なるべく小さくして入れてください。

混ざりにくく分解が遅くなります。また故障の原因にもなります。  
キャベツなら8分の1、長ネギなら10cmくらいが目安です。

■ 生ごみはなるべく水気を切ってから入れてください。

水分が多すぎると発酵に支障がでることがあります。

■ 魚のあら、米ぬか、米飯など、特定の物を大量に入れますと臭い発生の原因になります。特定の物を大量に入れることはさけてください。

■ 繊維質の強いもの（長ネギ、タケノコの皮、トウモロコシの皮）を大量に投入しないでください。ニオイ発生、攪拌羽根の曲がりや攪拌装置が故障することがあります。

## 投入してはいけないもの（処理できないもの）



金属類

（スプーン・フォーク・空缶・王冠等）



プラスチック類

（プラスチックトレイ  
包装容器・ビニール袋等）



油

油類

（天ぷら油・マヨネーズ・ラード類）



木質類

（割箸・竹・木・木の枝・切り花等）



紙類

（新聞紙・ティッシュペーパー・包装紙等）



灯油

有機溶剤

石油化学製品  
（ガソリン・灯油等）



ガラス・陶器・石

（空き瓶・食器等）



みそ

塩分の強いもの

（醤油・味噌・ソース  
ぬかみそ・佃煮等）



香辛料

大量の香辛料類

（唐辛子・からし・胡椒等）



貝類



洗剤

化学薬品



タバコの吸い殻

# 7.ご使用の方法

## ご使用前の準備

- ① 本体と別梱包の糞殻を投入口フタより槽内に投入します。(写真- 1)
- 投入量は攪拌羽根が半分隠れるまで投入してください。目安としては下の表を参考にしてください。

	糞殻投入量
LE-18A	糞殻1袋+2/3袋 約120ℓ
LE-24A	糞殻2袋+1/2袋 約180ℓ

### 注

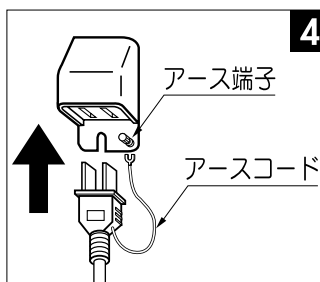
糞殻が投入口フタのまわりの溝に乗らないように注意してください。

- 残りの糞殻は追加用です。(糞殻の追加のタイミングの項を参照)
  - 2回目からは、糞殻セットをご購入してください。
  - お手持ちの糞殻でも使用できます。
- ② 別梱包のエコロンボ菌 (200g×1袋) を投入口フタより槽内に投入します。(写真- 2)

- ③ 別梱包の脱臭剤 (1kg×1袋) を投入口フタより槽内に投入します。(写真- 3)

- ④ アースコードを接続して、電源プラグをコンセントに差し込みます。

- 屋外の電源コンセントを使用される場合は、防雨形を使用してください。



- ⑤ 本体正面左上の電源スイッチを「入」にします。(写真- 5)



## 使い方

生ごみを投入して投入口フタを閉めます。

- 1時間毎に1回(1分間)自動的に攪拌します。

### 注

投入量は

	標準(1日当り)	最大(1日当り)	1週間
LE-18A	1.8kg	2.3kg	12.6kg以内
LE-24A	2.4kg	2.9kg	16.8kg以内

です。投入量を超えると本体底から水が漏れることがあります。

投入口フタのまわりの溝に生ごみが乗らないように注意してください。溝にごみがありましたら、きれいに掃除してください。

後は毎日投入口フタを開け生ごみを投入して、フタを閉めるだけです。

## 籾殻の追加のタイミング

- 投入口フタを開けて中をのぞいた時、攪拌軸が見える状態であれば、籾殻を攪拌羽根が半分隠れるまで投入してください。A
- また内容物が固まりだした、ベトついてきた、臭いが発生した場合は籾殻約10ℓ(バケツ一杯程度)を追加してください。
- 目安として1ヶ月に10ℓ程度です。(投入量、投入物の種類によって異なります。)

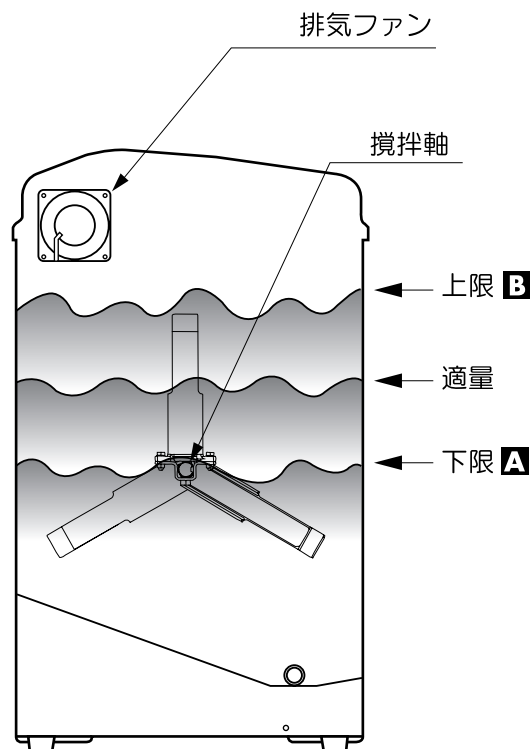
## 排出のタイミング

- 内部の量が上限を超えたとき(攪拌羽根が見えなくなる)や、(右図参照)四隅が固まりだしたら全量を排出して、新しい籾殻に交換してください。B
- 少なくとも6ヶ月に一度は排出してください。「8.堆肥の取り出し方」を参照してください。
- 長期間排出しないと、攪拌羽根が変形したり、軸が破損したりすることがあります。



### 注 【ファンのロックに注意】

投入口フタを開けて向かって右側上部(LE-24は左側上部)に排気ファンがついています。これに籾殻の破片等が噛み込むと排気ファンがロックすることがあります。この場合は一旦電源を切りプロペラに付着したごみを取り除いて、再度電源を入れ投入してください。



## 8. 堆肥の取出し方と製品のお手入れ

内容物が上限まで増えた場合は堆肥を取出してください。  
少なくとも6ヶ月以内に一度排出してください。

### 排出作業手順



**警告**

● 排出作業をする時は安全のために手袋をして行ってください。

- ① 電源スイッチをOFFにします。
- ② 電源コードをコンセントから抜きます。
- ③ 排出口フタの前に堆肥受けのシート、もしくはプランターのような容器を置きます。
- ④ LE-18Aは排出レバーを内側に回し、排出口フタを手前へ引き上げるようにして取り外します。  
LE-24Aは、排出口フタネジを回して、排出口フタを手前に開きます。
- ⑤ シャベル等で堆肥をかき出します。  
● 底に1~2cm程度残っていても構いませんが、内部の固まりはほぐしておいてください。

**注**

排出口フタスイッチに、硬い物を当てないように注意してください。

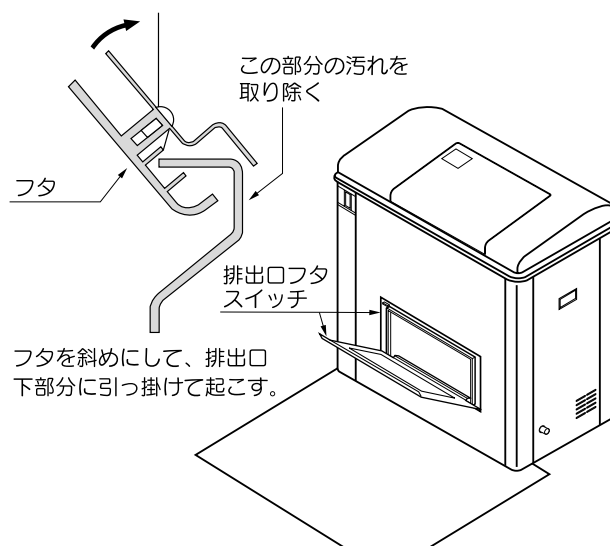
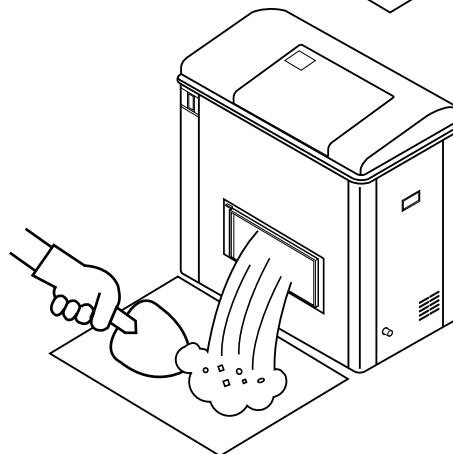
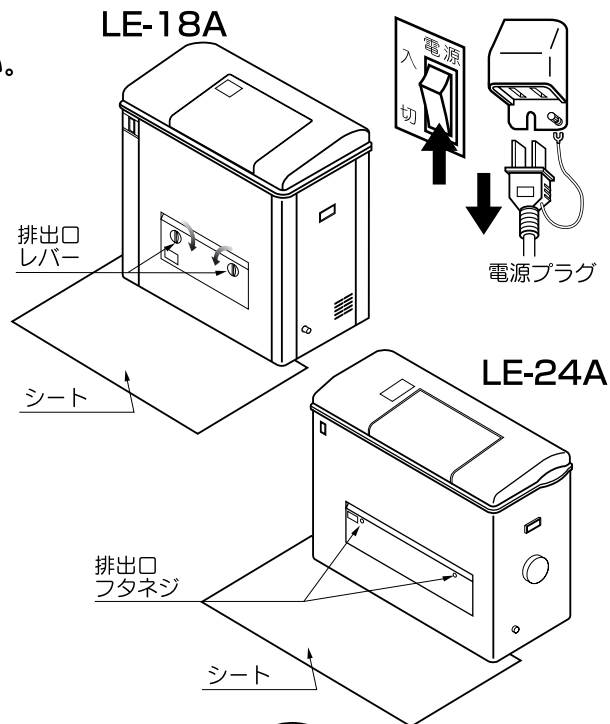
- ⑥ 排出した物は堆肥として使用してください。
- ⑦ 排出した後は排出口まわりと、排出口フタの汚れをホウキなどで取り除いて、排出口フタを取り付けます。
- ⑧ 本体のお手入れ
  - 投入口まわりの溝の汚れを取り除いてください。
  - 本体が汚れた場合は、柔らかい布を使い中性洗剤などでふき取ってください。
  - 内容物が湿っていても排水が出ない場合は、割り箸のような棒を排水パイプにさして、詰まっているものを取り除いてください。

**注**

排出口まわり、排出口フタスイッチ部分に内容物が残っていると、フタが閉まらなくなることがあります。

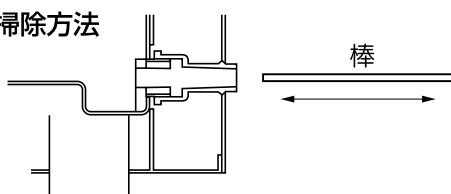
### 再セット手順

- ① 攪拌羽根が半分隠れるまで投入口フタから籾殻を投入します。
  - お手持ちの籾殻でも使用できます。
  - 籾殻が手に入らない場合は、補充用籾殻をご購入ください。
- ② 種菌として排出した堆肥を約10ℓ 投入口フタより戻します。
  - 戻す種菌がない場合は籾殻セットを購入し、エコロンボ菌と脱臭剤を追加してください。

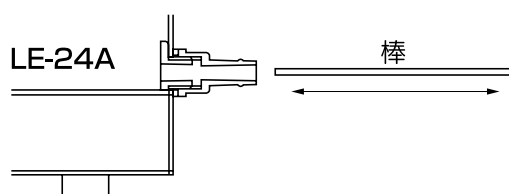


### 排水パイプ掃除方法

LE-18A



LE-24A



## 9.故障かな?と思われたら

症状	原因	対処方法	参照ページ
1.攪拌しない	電源が切れている	電源コンセント・スイッチを確認してください。ファンも回っていないければ電源が切れています。	P9
	異物・大きな物・長い物が羽根にはさまった	堆肥の取り出し方に従って、異物、大きな物、長い物を取り除いてください。水切りネットも攪拌羽根をロックさせる原因になります。	P11
	内容物量が限界になった	堆肥の取り出し方を参照してください。	P11
	投入口フタスイッチが働かない	投入口フタまわりの溝の汚れを取り除いてください。	P11
	排出口フタスイッチが働かない	排出口を開いてスイッチ、排出口まわりの異物を取り除いてください。	P11
2.悪臭がする (ベトついてきた。底から水が漏れる)	吸気口、排気口がふさがれている	LE-18Aは本体左右側面の吸・排気口、LE-24Aは本体向かって左側面と左底面の排気口をふさいでいる物を取り除いてください。	P7
	排気ファンがロックしている	コンセントを抜いてから、ファンのまわりに付着している粉殻等を取り除いてください。	P10
	発酵が急激に盛んになった	使用し始めて条件が整うと急激に発酵が始まる場合があります。数日間で臭いはおさまりますが、気になる場合は、粉殻を約10リットル追加してください。(バケツ一杯程度)	
	粉殻の水分が高くなり固まりだした	粉殻を10リットル追加してください。	P10
	1日当たりの標準投入量を越えている	1週間の投入量を守ってください。粉殻10リットル追加してください。	P8
	魚のあら、ご飯等が大量に投入された	魚のあら、ご飯、米ヌカなどを大量に入れないでください。粉殻10リットル追加してください。	P8
	排水パイプが詰まっている	割り箸のような棒を排水パイプにさして、詰まっているものを取り除いてください。	P11
	粉殻が細かくなり通気効果がなくなっている (ダンゴ状態)	堆肥の取り出し方に従って粉殻を交換してください。	P11
3.虫が寄りつく	装置に生ごみの汁がついている	汁等汚れを取り除いてください。	
	排気口より弱い臭いが発生している	有害物質を全く添加しておりませんので多少の小蠅は寄りつきます。気になる場合は市販の殺虫剤を噴霧してください。	

このほか電氣的・機械的故障があった場合は購入先にご連絡ください。

# 10.堆肥の使い方

## 生ごみ堆肥の特長

エコロンポでできた堆肥は生ごみの成分によって異なりますが、一般的に窒素分が強く、葉もの（コマツナ・ほうれん草など）に適しています。

ただし、取出し直後の堆肥は強すぎますので、たくさん施用すると植害がでることがあります。

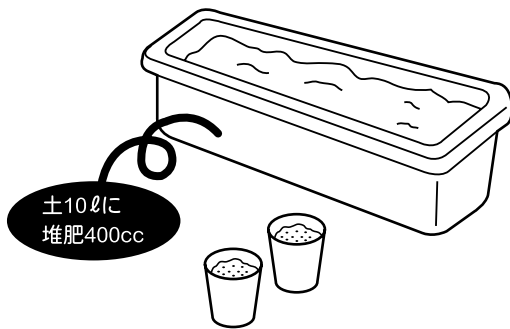
次の方法を参考にしてご使用ください。

### A.うすめて使用する

プランタなどへ用いる場合は、混ぜる量を土10ℓあたり400cc（コップ約2杯）程度にしてください。

（ふつうのサイズのプランタは約10ℓの土が入ります。）

生ごみ堆肥は養分が強いので、やりすぎないように注意してください。



### B.植物の根から離して施用する

庭や畑へ施用する場合も、多く入れすぎないように注意してください。

植物の根に直接接触れないように、20~30cmほど離して土と混ぜます。



### C.すぐには種まき・移植をしない

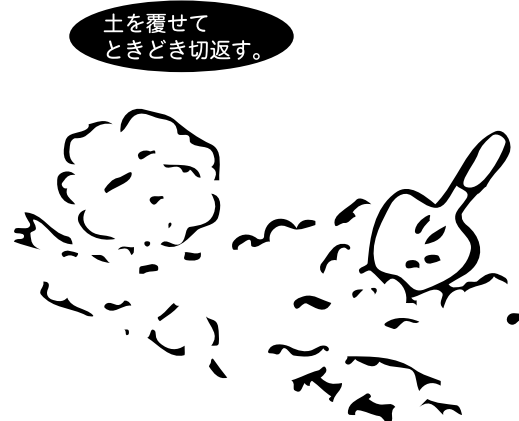
土の中へ混ぜこんで置いてそのまま完熟するのを待ちます。土と堆肥の成分によって異なりますが1ヶ月以上おいた方が安心です。

土に混ぜる量は1㎡あたり10ℓくらいが目安です。



### D.施用前に熟成させてから施用する。

庭の隅などに積み上げて、上から土を覆いかぶせておき、ときどき切返して1~2ヶ月待ちます。



# 保証書

このたびは静岡製機製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
お買い上げいただきました製品につきまして、下記のとおり保証をいたします。

## 記

- 1.保証期間** 納入日から起算して1年間です。
- 2.保証内容** この製品は万全の品質管理と検査を経てお届けしたものです。万一、正常な使用状態で故障した場合には、弊社製品取扱先及びその指定サービス工場で当該部品の取替え、又は、修理を無料でいたします。
- 3.適用除外** 保証期間内でも、下記の場合には保証いたしません。
  - (1) 使用上、並びに取扱い上の不注意、過失、点検不備によって、故障が生じた場合
  - (2) 弊社が規定する仕様の限界を越えて使用した場合
  - (3) 弊社が認めない改造変更が原因となって故障した場合
  - (4) 弊社純正部品以外の部品使用が原因で故障した場合
  - (5) 弊社製品の取扱先又は、その指定サービス工場以外で修理され故障した場合
  - (6) 故障判定資料の不十分なもの、及び損傷部品を紛失された場合
  - (7) 消耗部品
  - (8) 保証書の提示がない場合は有償となることがあります
  - (9) 保証書を紛失した場合は再発行いたしません

## 4.部品の供給年限

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後6年といたします。ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は、原則的に上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。

※本保証書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid in Japan）

 **静岡製機株式会社**

静岡県袋井市山名町4-1

1.お買い上げ製品	(機種名)
2.製造番号	
3.年 月 日	年 月 日
4.ご購入者氏名	
5.据付者氏名	取扱先名
	氏 名

## 連絡先

機械に異常が発生し、原因が不明で適切な処置ができない場合は、購入先または下記のところへ連絡してください。

購 入 先	
住 所	
T E L	

◎ 製品の修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買い上げの販売店もしくは最寄りの弊社営業所にお申し付けください。

# 静岡製機株式会社

営業本部 〒437-1121 静岡県袋井市諸井1300 ☎袋井(0538) 23-2822 FAX.(0538) 23-2890  
北海道営業所 〒007-0804 札幌市東区東苗穂4条3丁目4番12号 ☎札幌(011) 781-2234 FAX.(011) 780-2273  
東北営業所 〒989-6135 宮城県大崎市古川稲葉字亀ノ子50-1 ☎古川(0229) 23-7210 FAX.(0229) 21-1330  
新潟営業所 〒950-0923 新潟県新潟市中央区姥ヶ山1丁目5番30号 ☎新潟(025) 287-1110 FAX.(025) 257-1197  
関東営業所 〒302-0017 茨城県取手市桑原1424-1 ☎取手(0297) 73-3530 FAX.(0297) 70-1137  
中部営業所 〒437-0023 静岡県袋井市高尾2620-1 ☎袋井(0538) 43-2251 FAX.(0538) 45-0310  
北陸営業所 〒920-0365 石川県金沢市神野町東52 ☎金沢(076) 249-6177 FAX.(076) 240-9333  
関西営業所 〒661-0032 兵庫県尼崎市武庫之荘東2丁目10-8 ☎大阪(06) 6432-7890 FAX.(06) 6434-2184  
中四国営業所 〒700-0975 岡山県岡山市今2丁目8-12 ☎岡山(086) 244-4123 FAX.(086) 244-9300  
九州営業所 〒839-0862 福岡県久留米市野中町1438-1 ☎久留米(0942) 32-4495 FAX.(0942) 31-7373

◎ ご購入された製品や弊社のサービス全般についてのご提案、ご意見、ご要望は下記までご連絡ください。

【静岡製機株式会社 お客様提案窓口】

フリーダイヤル ☎ 0120-702-118 (携帯電話、PHSは不可)

一般電話 0538-23-3305

F A X 0538-23-4997

ホームページアドレス <http://www.shizuoka-seiki.co.jp/>



用紙は再生紙を使用、インキは大豆油を使ったSOY INKです。  
弊社では地球にやさしい印刷物を使います。

53036-205001C

H0903(和)